

学校だより

令和元年
11月号

Global education

渋谷区立 原宿外苑中学校

校長 大友 文敬

教育目標 自主 共生 健康

<https://www.fureai-cloud.jp/haragai>

「ONE TEAM」

11月2日に、ラグビーワールドカップ日本大会が終了しました。毎年、その年の世相を反映し、人々の話題に上った言葉に贈られる賞の候補に、「ジャッカル、にわかファン、4年に一度じゃない。一生に一度だ、笑わない男、ONE TEAM（ワンチーム）」という、ラグビーに関する5つの言葉が候補に挙がるなど、日本中が熱狂した約40日間でした。

日本代表の活躍に日本中が盛り上がりとともに、日本代表の応援だけでなく、他国の試合での盛り上がり、ラグビーの面白さだけでなく、フェアプレーの精神など競技の奥深さを感じることができ、多くの人を惹き付けたのではないのでしょうか。今回の大会では、競技だけでなく、海外から来た方を歓迎し、そのホスピタリティに感謝の言葉があふれ、日本人として誇れるものとなりました。そして、沢山の喜び、期待や感動を味わうことができました。来年度のオリンピック・パラリンピックにつながるものだったのではないのでしょうか。

今回、日本代表の活躍の中で脚光を浴びたことの1つに、海外出身の選手が日本代表として闘っている姿でした。キャプテンのリーチ選手はニュージーランド出身で、まさに多様性のある日本の象徴となっていました。これは、渋谷区が掲げる「ダイバーシティとインクルージョン」に通じるものでしょう。これからの日本の社会は、多様な文化を受け入れる共生社会の実現は避けて通れません。これから社会に出て活躍する子どもたちにとって、様々な文化を吸収し、たくましく成長してほしいものです。

全校集会等では、この大会から学ぶことについて生徒に伝えてきました。

日本代表は、今回のスローガン「ワンチーム」となり、目標に向かってそれぞれが役割を果たし、初めてベスト8進出という素晴らしい試合を見せられました。日本代表のジョセフヘッドコーチは、この結果は「自分たちを信じて、あきらめずに戦ったからだ」と言っていました。しかし、これは簡単なことではありません。学習や部活動、行事などで、あきらめず、自分の力を信じて取り組んでも、結果が出ない経験をしたかもしれません。それでも、できることをやり続け、自分を信じる姿勢の大切さ、それが結果につながることを、教えてくれたと思います。それが、自分の希望や夢を実現することにつながるのでしょうか。ただ、時間は限られています。今使える時間を大切に、計画的に取り組んでほしいものです。

次に話をしたのは、ラグビーの競技規則にある、ラグビー憲章「品位」「情熱」「結束」「規律」「尊重」についてでした。国際連盟のワールドラグビーが正式に定めているものです。改めて、単語の意味をそれぞれ伝え、皆で考えてみました。

「品位」：人や物事にそなわっている気高さや上品さ。

「情熱」：その物事に対して激しく燃え上がる感情。

「結束」：同じ志の者が団結すること。

「規律」：社会生活・集団生活において人の行為の基準となるもの。

「尊重」：価値あるもの、尊いものとして大切に扱うこと。

この5つの単語を聞いて、生徒には何か感じることはありますかと問いかけました。それぞれが、目標をもち様々な取り組みを進めていく上で、どれも大切なものではないのでしょうか。この言葉は、学校生活にも当てはまるものと考えます。ぜひ、この5つの単語を一人一人が心に留め、今後の学校生活に生かして欲しいと話しました。

原外生としての品位、情熱、結束、規律、尊重をそれぞれが実践し、原外が「ONE TEAM」となり、素晴らしい学校を作っていきたいと思っています。

後期生徒総会

これまでの先輩方が築き上げてきた歴史を引継ぎ、新たな原外の歴史を作っていくことが大切です。生徒会役員を中心に全員で支え、意見をしっかりと交わし、その中で決定したことは、それに向け、皆が同じ方向を向いて行動していくことが重要です。皆さんが「ONE TEAM」となり、学校の素晴らしい歴史を作っていくことを願っています。



今年度も早いもので、残すところあと4ヶ月となりました。今年度の目標はどこまで達成できたでしょうか？時間は無限ではありません。その時間をどのように使い、充実した生活にするかは皆さん次第です。ここまでの学校生活を振り返り、残りの4ヶ月をどのように過ごしていくか、改めて考えてください。人に言われてから動くのではなく、今何をやるべきか考え、判断し、それを行動に移すことです。後で振り返って、「あの時、もっとこうしておけば良かった」と後悔しないよう、悔いのない生活を送ってほしいものです。